



朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート
(令和5年度事業評価)

令和6年7月25日（検証実施）
朝日町

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シートについて

基本目標 ○ ○ ○ まちづくり

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標です。

(○) ○ ○ ※施策名

1) 施策の方向

基本目標の実現に向けた施策名を示すとともに、施策の方向性を記載しています。

(朝日町人口ビジョン 朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和3年3月) P24～)

※施策達成に向けた「主な取り組み」について、当該年度の効果検証シートを作成しています。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

○	朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略における主な取り組みを記載しています。	所管課	主な取り組みにおける所管課を記載しています。
■ 令和5年度の進展度		※1 下記の取り組み概要及び目標指標の達成状況を踏まえA～Dの4段階で評価しています。	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
令和5年度の取り組み内容を具体的に明記するとともに、取り組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している新たな課題を記載しています。			
■ 令和6年度の取り組み方向			
事業評価を踏まえ、令和6年度の取り組み方向を記載しています。 なお、機構改革にともない所管課名が変更の場合「<新課名 (旧課名)>」にて表記しています。			

※1 ■ 令和5年度の進展度 (A～Dで評価)

A : 十分進んだ (100%)

B : ある程度進んだ (70%以上100%未満)

C : あまり進まなかった (40%以上70%未満)

D : 進まなかった (40%未満)

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略における重要業績評価指標を記載しています。	令和元年度の基準値	目標値	令和3年度の目標値	令和4年度の目標値	令和5年度の目標値	令和6年度の目標値	令和7年度の目標値
		実績値	令和3年度の実績値	令和4年度の実績値	令和5年度の実績値		

※現時点で、当該年度の現状値の把握が困難な指標については、把握可能な最新年度の数値が記載されています。最新年度を用いた場合は、「例：(H30) または (R1) 等」と併記されています。なお、これに関連する目標値も同様に、評価に用いる対象年度を「例：(R1) 等」と併記されています。

基本目標と現状値について

基本目標1 子どもを産み・育てやすいまちづくり

■基本目標1の数値目標

目標指標	基準値（平成30年）	現状値（令和4年）	目標値（令和7年）
合計特殊出生率	1.81	1.87	1.88

■基本目標1の施策の展開（P3～13）

- (1) 妊娠・出産・子育てまで途切れのない支援
- (2) 仕事と子育ての両立支援
- (3) 次代を育てる教育環境の充実

基本目標2 活力ある働きやすいまちづくり

■基本目標2の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和3年度）	目標値（令和6年度）
事業所数	317事業所	308事業所	現状維持以上

※基準値は経済センサス基礎調査より

※現状値は経済センサス活動調査確報値より

■基本目標2の施策の展開（P14～18）

- (1) 企業誘致の推進と雇用対策の推進
- (2) 商工業の振興
- (3) 農業の振興

基本目標3 人が集う魅力あるまちづくり

■基本目標3の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和5年度）	目標値（令和7年度）
あさひ竹プロジェクト関係イベントへの参加者数	—	397人	400人

■基本目標3の施策の展開（P19～24）

- (1) 適切な土地利用と良好な景観形成の推進
- (2) 観光交流資源の創出と情報発信
- (3) 歴史・文化の継承と活用

基本目標4 安心してずっと暮らせるまちづくり

■基本目標4の数値目標

目標指標	基準値（令和元年度）	現状値（令和5年度）	目標値（令和7年度）
町に住み続けたいと思う町民の割合	91%	—	92%

※基準値は第6次朝日町総合計画町民アンケート調査結果より

■基本目標4の施策の展開（P25～38）

- (1) 誰もがいきいきと暮らせる環境づくり
- (2) 協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成
- (3) 安全・安心な地域づくり
- (4) 持続可能な行財政運営

基本目標1 子どもを産み・育てやすいまちづくり

(1) 妊娠・出産・子育てまで途切れのない支援

1) 施策の方向

妊娠・出産・子育ての希望をかなえるためには、長期的な視点に立って少子化対策を進める観点から、妊娠・出産・子育ての各段階に応じた、きめ細やかで途切れのない対応が求められています。

朝日町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するために、子育て支援の環境や体制の充実を図るとともに、あさひ園を拠点とした保育サービス、子育て支援センターによる育児支援・相談・情報提供など、多種多様な価値観があるなか、地域ぐるみで子育てについて考え、一緒に子どもたちの成長を見守ることができる環境づくりに取り組みます。

また、子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠・出産・育児期における各種健康診査や相談・情報提供などの母子保健に取り組み、妊娠から育児までの様々な場面と途切れのない母子保健対策の充実を推進します。

さらに、特別な支援を必要とする子どもたちが年々増えていることから、保健・医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、療育体制の充実を図ります。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・「保幼小中育ちのリレー事業」を通じて、園児・児童・生徒の交流や教職員の交流が計画どおり実施できており、途切れなく子どもたちの健やかな成長を支援しました。			
■ 令和6年度の取り組み方向			
・子どもたちの健やかな成長を支援するため、園、小学校、中学校が1校ずつあることの強みを活かした事業を実施します。			

②	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制その他業務の円滑な実施に取り組む施策として、現行の第2期朝日町子ども・子育て支援事業計画は令和6年度までの計画ですが、第3期の計画策定に向けてアンケート調査を実施しました。 ※【実施計画】子ども・子育て支援事業計画策定事業 ・朝日町保健福祉センターにて育児相談を実施しました。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めました。 ・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けました。 <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業について地区公民館と朝日町保健福祉センターを会場に毎日開催しており、地域の子育て支援の受け皿として活動しました。また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更されたことを受け、それまでの参加人数の制限を廃止し希望する誰もが参加できる環境を整えました。 			
■令和6年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期朝日町子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、最新の出生数や人口動態のほか、令和5年度実施のアンケート実態調査の結果等を踏まえ、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の見込みや確保方策の目標値等を設定します。また、児童福祉法の改正により、地域子ども・子育て支援事業を充実させニーズに沿うサービスを提供できるよう計画を策定します。 ※【実施計画】子ども・子育て支援事業計画策定事業 ・引き続き、朝日町保健福祉センターにて育児相談を実施していきます。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方の参加も勧めていきます。 ・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けていきます。 <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさひ園と子育て支援センターという限られた資源の中で、可能な限り子育て支援の受け皿を維持し事業を実施します。また、子育て支援センター事業については、会場を朝日町保健福祉センターに固定し、いつでも誰でも参加できる環境を整えます。 			

③	母子保健対策の充実	所管課	子育て健康課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・妊娠期から各時期に合わせた教室・健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行いました。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達を確認し、必要に応じた指導を行いました。</p> <p>・少子化対策の一環として特定不妊治療費・不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>・子ども医療費助成事業については計画どおり事業を遂行でき、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができました（実績額68,799千円）。また、近隣市町で対象年齢拡大等のより充実したサービスを実施しているため今後の検討課題となっています。</p> <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・妊娠期から各時期に合わせた教室健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行っていきます。また、乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達を確認し、必要に応じた指導を行います。</p> <p>・令和6年度より1か月児健康診査の助成額を4,000円に増額し、経済的負担の軽減を図っていきます。</p> <p>・引き続き、少子化対策の一環として不育治療費助成事業により、費用の一部を助成することによって経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>・子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、引き続き医療費助成事業を実施します。また、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。</p> <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p>			

④	子どもの発達支援の推進	所管課	子育て健康課、あさひ園
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <p>・専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士）による個別相談で、言語指導、発達検査等の相談・助言を予約制で実施しました（446回）。また、専門職（特別支援教育士・社会福祉士）の園・学校への巡回相談、作業療法を実施しました（26回）。</p> <p>・健診時での気になる子どもや保護者からの相談内容から、専門職につなぎ、子どもの発達アプローチや保護者の不安軽減になるよう対応し、個別相談を実施しました。</p> <p>・みえ発達障がい支援システムアドバイザーは、保護者や園学校に支援方法をアドバイスをしました（141件）。相談後も、継続的に保護者相談を受けたり、子どもの観察を行いました。</p> <p>・子どもの特性を理解してもらえよう園・学校にも情報共有を行いました。</p> <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <p><あさひ園></p> <p>・子どもの発達支援を専門とするNPO法人と連携し、子どもたちの途切れのない支援を行うため職員研修を実施し、保育士の質の向上と子ども個々に応じた支援を行いました。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <p>・引き続き、保護者相談や子どもの観察した様子を保護者にリターンするなど丁寧な対応、かつ継続的な支援を行います。また、早期発見、支援が継続的に行えるよう多職種連携、各関係機関との連携を図りながら、途切れのない支援体制を引き続き構築します。特別な支援を必要とする子どもの早期発見に努め、専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・特別支援教育士・社会福祉士）による相談・指導等を実施します。また、保護者の相談を傾聴し、不安軽減に繋げるとともに専門性や技術力向上を図ります。</p> <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <p><あさひ園></p> <p>・子どもの発達支援を専門とするNPO法人と連携し、子どもたちの途切れのない支援を行うための取組みを継続します。また、子育て支援の悩みなど相談機関としての充実を図るため職員研修を実施します。</p>			

⑤	様々な子育て家庭に対する支援の充実	所管課	子育て健康課
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・ひとり親家庭の子ども、障がい児を対象として、医療機関にかかったとき、保険適用分のうち自己負担分（額）を後日助成しました。</p> <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p> <p>・令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業は令和4年度同事業の対象となった方及び新たに住民税非課税相当の収入となった方に児童一人当たり5万円を給付しました（対象世帯22世帯、対象児童37人、給付実績額185万円）。</p> <p>・虐待・DV・若年妊婦等、支援が必要な家庭については、あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等関係機関と情報共有、相談を図りながら支援しました。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・医療費の助成については対象世帯の経済的な負担軽減を図るため実施するとともに、近隣市町の動向を注視しながら事業継続に取り組みます。</p> <p>・引き続き、虐待・DV・若年妊婦等、支援が必要な家庭については、あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等関係機関と情報共有、相談を図りながら支援します。</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援センター利用者数	20人/日	目標値					全希望者
		実績値	10人/日 (全希望者)	12人/日 (全希望者)	12人/日 (全希望者)		
赤ちゃん訪問率	100%	目標値					維持
		実績値	91.2%	100.0%	100.0%		
1歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	98.2%	99.1%	99.0%		
3歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	99.1%	97.5%	96.5%		

基本目標1 子どもを産み・育てやすいまちづくり

(2) 仕事と子育ての両立支援

1) 施策の方向

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図り、採用・配置・育成などあらゆる側面において男女間の格差の是正や、仕事と家庭が両立できる「働き方」を実現し、子育て環境の改善が求められています。

朝日町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するために、子育て支援の環境や体制の充実、子育てと仕事の両立支援を推進します。

また、近年、放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）に対する町民ニーズが高まっており、保護者が安心して就労し、かつ児童の健全育成を促進するため、放課後児童クラブの更なる充実を図ります。



令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園、子育て健康課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労時間に応じ早朝保育、延長保育の受入れや、支援が必要な園児に対し加配保育士の配置など体制を整えて、令和4年度に引き続き「待機児童数0」を達成しました。 ・4月から医療的ケア児の受入れを開始し安全な園生活が送れるように支援しました。また、医療的ケア児安全管理委員会を9月と2月の2回開催し、医療的ケアの実施体制やヒヤリハットの分析結果の評価を行い改善につなげました。 ・使用済紙おむつの回収については、園にて無償で回収する体制が整い、6月1日から無償回収を実施し保護者から評価をいただきました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育を行っている保育所の案内を窓口に設置、必要な方に配布を行いました。朝日町内で事業受入可能な医療機関がないため、桑名市及び近隣市町と連携し引き続き事業が継続できるように取り組みました。また、一時保育の案内等を行いました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育ニーズの把握に努め、安心安全な保育所運営を行うため、保育士の確保や環境整備を行い、「待機児童数0」に努めます。 ・保育所のICT化については、保護者からの要望等を受け、園児の登降園管理、保護者への諸連絡、写真販売、保育指導計画など保護者の利便性向上と職員の業務効率化が図れるよう取組みを進めます。 <p>※【実施計画】保育所等におけるICT化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料の見直しについては、朝日町財政改革推進プランに基づき、現状の受益者負担の分析を行い、負担の公平性を確保していくため令和7年度に見直しできるよう検討を進めます。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町と連携し引き続き、病児保育事業が継続できるように努めます。 			

②	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日町児童館は、18歳未満の子ども達へ遊びを通じて健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊かにする事を目的に各種事業（児童館まつり、こどもあそび館、子育て広場「ぼっぼ」）を実施しました（利用者数19,629人）。</p> <p>・放課後児童クラブは現在7か所で運営しており、事業者へ運営補助として補助金を交付しました（利用者数199人・利用希望者全員が利用）。</p> <p>・放課後児童クラブの利用者は毎年増加し続けており、町として待機児童が出ないように事業者とは情報共有を徹底し、学童保育スペース確保の工夫も併せてお願いしました。来年度以降も利用者の増加が見込まれますが、引き続き待機児童が出ないように事業者と調整が必要です。</p> <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・引き続き、子どもたちの健全な育成を図るため、朝日町児童館にて各種事業（児童館まつり、こどもあそび館、子育て広場「ぼっぼ」）を実施します。</p> <p>・子どもたちの居場所づくりのため、引き続き放課後児童クラブの事業者への運営補助を実施するとともに、事業者と調整を行い国の基準である1支援あたり40名前後で保育を実施していきます。</p> <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
保育所入所待機児童数	0人	目標値					0人
		実績値	0人	0人	0人		
放課後児童クラブ利用者数	175人	目標値					全希望者
		実績値	176人 (全希望者)	200人 (全希望者)	199人 (全希望者)		
児童館利用者数	17,466人	目標値	14,500人	16,500人	17,000人	17,500人	18,000人
		実績値	16,251人	17,505人	19,629人		

基本目標1 子どもを産み・育てやすいまちづくり

(3) 次代を育てる教育環境の充実

1) 施策の方向

子どもたち自身が生き抜く力を養うとともに、町の将来を担い継承し、かつ持続的発展が可能なまちづくりを推進するためには、人材育成は極めて重要なことです。子どもたちの育成に当たっては、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、知・徳・体のバランスの取れた人材育成が必要であり、このための教育環境の充実に努める必要があります。

小学校、中学校の学校教育において、ICT機器の活用、教材や学習内容の充実などにより、一層の学力向上に向けた取り組みを推進するとともに、郷土の自然や歴史・文化などの郷土教育を通じて「ふるさと朝日」に対する愛着を育み、かつ子どもたちの豊かな心の育成のための道徳教育の充実を図ります。また、子どもたちの健全な心身を養うために、栄養バランスに配慮した学校給食や基礎的な食習慣を促すとともに、魅力的な体育授業を取り入れるなどして、子どもたちの健康増進に努めます。

さらに、子どもたちを取り巻く教育環境が複雑・多様化する中で、学校・家庭・地域の関係者が目標・課題を共有し、地域全体で子どもたちの豊かな育ちを図ります。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	確かな学力の育成	所管課	あさひ園、教育課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> 園内の異なる学年の園児が交流を行い人権意識や心の育ちの向上に取り組みました。また、担任など職員についても他のクラス担任の保育見学を行うなど保育士の資質向上に取り組みました。 近隣自治体など全国各地で不適切保育に関する報道がされたことに起因し、園児に寄り添った教育、保育を実践するため、全国保育士会が推奨する「人権擁護のためのセルフチェック」を活用した職員の意識改革に取り組みました。この取り組みに対し、学校関係者評価として、不適切保育に関し園での話し合いや自己評価項目の変更などについて今後も丁寧に対応いただきたいとの意見をいただきました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師（小学校5人・中学校4人）やALT（外国人英語指導助手・小中学校にそれぞれ1人）を配置するとともに、小学校に理科支援員（1人）及び外国語活動指導員（1人）を配置しました。 児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が授業力の向上をめざし、年1回以上、指導主事を招聘した研究授業を実施し、指導力の向上・授業改善を図りました。加えて、1人1台端末や電子黒板の学習における効果的な活用について、昨年度に引き続き研修を進めた結果、全国学力学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を大きく上回りました（小学校：国語（+7.6pt）算数（+7.3pt）中学校：国語（+8.9pt）数学（+12.6pt）英語（+15.9pt））。また、全国学力学習状況調査等の分析をもとに、児童生徒の弱みを克服するための取組を推進しました。 「1人1台端末」の持ち帰りを、おおむね1週間に1回程度実施しました。そのことにより、音読（英語のリーディング）や楽器の演奏を録音して提出するなど、課題の幅が広がりました。また、自主学習にも活用し、授業の復習やテスト勉強に役立てる児童生徒も増えました。 			

<p>■ 令和6年度の取り組み方向</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の異年齢交流や心の育ちを意識した保育実践を通じて人権意識を向上させる取り組みを継続します。 ・学校関係者評価など外部の客観的な評価を取り入れ、実践、評価、改善のサイクルをとって学力の育成に取り組みます。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師やALT等を配置します。 ・授業力を向上できるよう、全ての教員が指導主事を招聘した研究授業を実施します。 ・全国学力学習状況調査等の分析をもとに、児童生徒の弱みを克服するための取り組みを推進します。 ・家庭での学習習慣を定着させるとともに、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の効果的な活用を推進します。

②	豊かな心の育成	所管課	教育課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が非認知能力を高めるとともに、「できた」「分かった」等の達成感を味わうことができるよう、一人ひとりの実態を把握し、全ての教育活動において豊かな心を育むための取り組みを進めました。 ・小学校5年生で、農業体験を実施しました。また、小学校社会科において、地元で働く人々や朝日町の歴史など、地域を題材にした教材を使った授業を実施するとともに、副読本「わたしたちの朝日町」を活用しました。 ・発達段階に応じた豊かな人権感覚を系統的に育むため、昨年度に作成した中学校区人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムに沿った実践を行いました。 ・学校だよりや学校ホームページを通じて、「人間力」の大切さについて、児童生徒・保護者に啓発しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の豊かな心の育成のため、一人ひとりを大切に教育活動を推進します。 ・中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムを活用した、人権教育を実践します。また、小中間で成果・課題等を共有することで、中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムのブラッシュアップを図ります。 ・学校だよりや学校ホームページを通じて、「人間力」の大切さについて、児童生徒・保護者に啓発します。 			

③	健やかな体の育成と食育・健康教育の充実	所管課	教育課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・魅力ある体育授業づくりを推進することや、授業の初めに主運動につながる5分間運動を取り入れる等により、子どもたちに運動の楽しさや達成感を味あわせることを通して、子どもたちの体力向上をめざしました。</p> <p>・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において小学5年生、中学2年生の体力・運動能力を測る全8種目の合計点は、小学校は男女ともに前回調査を若干上回りましたが、中学校は男女ともに前回調査を大きく下回る結果となりました。これについては、前年度、コロナ禍において部活動が制限されたことが要因と推察します。</p> <p>・部活動の充実を図るため、部活動指導協力員を1人配置しました。地域クラブ活動については、協議会を立ち上げ協議を始めるとともに、地域連携への準備を進めました。また、今年度改訂された県の部活動ガイドラインを参考に、朝日町部活動ガイドラインの改訂を行いました。</p> <p>・全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙における基本的な生活習慣を問う質問で、基本的な生活習慣は県との比較では良好な結果となりました。</p> <p>・学校給食において、地元食材を活用するとともに、地元食材に係る食育を実施しました。</p>			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p>・児童生徒の体力向上を図るため、魅力ある体育授業づくりを推進します。</p> <p>・生涯学習課と連携し、一部の部活動において、試行的に休日部活動の地域連携を行います。</p> <p>・家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の維持向上を図ります。</p> <p>・食育が充実するよう、体験学習等の取り組みを推進します。</p>			

④	地域とともにある学校づくり	所管課	あさひ園、教育課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <p>・園児は、老人クラブの方々と5月のいもの苗植え、11月の収穫を通じて交流を行いました。また、2月には地元企業の見学をさせていただき地域を知る機会を得ました。</p> <p><教育課></p> <p>・コミュニティスクール（学校運営協議会）を小学校で3回、中学校で2回開催し、学校運営の成果や課題等について共有するとともに、地域とともにある学校づくりについて意見交換をしました。</p> <p>・朝日町文化祭に、朝日中学校プラスバンド部が出演するなど、地域との交流を図りました。</p> <p>・学校ホームページ等を通じ、学校での取組等について積極的に地域に発信しました。</p>			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <p>・地域の方々との交流を通じて、言葉づかいなどの道徳性を高めるとともに、地域のことを知る取り組みを行います。</p> <p><教育課></p> <p>・コミュニティスクール等を活用し、「学校から地域への積極的な情報提供」「学校と地域との協力体制の充実」「学校の活性化」等の取組を丁寧に継続していくことで、「家庭・地域の教育力向上」「地域の活性化」といった成果につなげられるよう、地域とともにある学校づくりを推進します。</p> <p>・学校ホームページ等を通じ、学校での取組等々を地域に発信します。</p>			

⑤	図書館の充実	所管課	文化課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行されましたが、引き続き換気や閲覧席の消毒等の感染症対策を行いながら運営をし、貸出者数14,105人、貸出冊数70,603冊となりました。また、読書環境の整備として、図書1,048冊を購入しました。 ・読書週間連携事業として、エントランスに特設コーナーを作り、標語に合わせた図書の展示を行いました。 ・幅広い年齢層に図書館を利用してもらうため、乳幼児向けのおはなし会や成人向けの教室、親子で参加出来るイベントを実施しました。 ・図書館資料の活用に繋げるため、夏休みの宿題サポートコーナーとして、自由研究や読書感想文の参考になる本を書架から集めて展示を行いました。 ・親子で参加出来るイベントとして「聞かせ屋。けいたろう&川之上健コラボイベント 絵本を楽しもう！」を開催し、参加者数は50人でした。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間連携事業として、標語に合わせた関連イベントや蔵書資料を活用した展示を実施します。 ・子どもから大人まで幅広い年齢層に図書館に来てもらえるよう、読書環境の整備に努めます。 ・図書館利用者だけでなく、未利用者の利用促進に繋がる事業の実施を検討します。 			

⑥	青少年活動の促進	所管課	生涯学習課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・「令和6年二十歳のつどい」を令和6年1月7日(日)に開催し、143名（内町外15名）が参加しました。 ・朝日町青少年育成町民会議は、補導活動（小中学校夏季休暇期間に夜間補導活動・4回）、青少年健全育成を目的として町文化祭で啓発活動の実施、家庭教育を目的としてあさひ子ども110番の家普及活動及び園・小・中に対する物品寄贈を行いました。また、事務局として活動を支援しました。 ・本部子ども会（朝日町子ども会育成者連絡協議会）は、8事業を実施しました（総会を除く）。また、事務局として全面的にバックアップしました。 ・放課後子ども教室は、小学1・2年生クラスに加え、3年生クラスを増設しました。それぞれ前後期5回ずつ開催し、1・2年生クラスは68名、3年生クラスは25名の参加となりました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・「令和7年二十歳のつどい」を令和7年1月12日(日)、朝日町保健福祉センターにて開催します。 ・朝日町青少年育成町民会議は、夏季補導活動、青少年健全育成を目的とする諸活動、家庭教育を目的としたあさひ子ども110番の家普及活動及び園・小・中に対する物品寄贈が行えるよう支援します。 ・本部子ども会（朝日町子ども会育成者連絡協議会）は、前年度の行事を継続しつつ、より多くの子どもが参加しやすい事業を実施できるよう支援します。 ・放課後子ども教室は、対象者を小学3年生までとし実施していきます。さらには地域学校協働活動推進員の設置や地域住民を交えた教室の開催を検討していきます。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
全国学力状況調査の標準化得点 (平均を100としたもの)の全国との比較	小6 103.0 中3 103.5	目標値	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0	小6 104.0 中3 105.0	小6 105.0 中3 105.0	
		実績値	小6 103.0 中3 103.5	小6 103.0 中3 103.5	小6 103.5 中3 104.5	/		
体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもたちの割合 (各学年男女平均)	小5 78.2% 中2 79.8%	目標値	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0	小5 85.0 中2 85.0	
		実績値	小5 69.3 中2 79.5	小5 70.8 中2 76.4	小5 70.6 中2 59.6	/		
コミュニティ・スクールの設置	未設置	目標値	設置済	—	—	—	設置済	
		実績値	設置済	—	—	/		
放課後子ども教室年間平均参加者数	19人	目標値					現状維持以上	
		実績値	14人	42人	93人	/		

基本目標2 活力ある働きやすいまちづくり

(1) 企業誘致の推進と雇用対策の推進

1) 施策の方向

地域活力の維持と発展のためには、働き場の確保は極めて重要なことです。そのためには、時代の変化に対応した企業の育成や新たな企業誘致を図り、雇用機会の拡大や働きやすい環境づくりが必要です。

本町の広域交通に恵まれた立地特性を生かし、町内の工業等振興ゾーンや未利用地への新規企業の立地を促進します。

また、新たな企業誘致とともに町内企業と連携を図り、雇用機会の確保や多様な働き方ができる働き場づくりを推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	新規企業の立地促進・支援	所管課	企画情報課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月に指定した事業者により2年目の奨励金を交付しました。 ・企業誘致エリアにおける埋縄川原地区において大手物流事業者が操業開始したため、新たに奨励金指定事業者と指定し、令和6年度の交付予定の奨励金指定事業者は2社となりました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・奨励金指定事業者2社への奨励金交付を実施します。 			

②	雇用機会の確保と雇用の促進	所管課	産業建設課、保険福祉課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションの出張相談窓口を毎月1回設置し、就労情報の提供や相談活動を行いました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代を対象とした厚生労働省発行の「就職氷河期世代活躍支援」のチラシを窓口を設置し、窓口へ来庁された相談者へ配布しました。 ・三重労働局発行の「with u s」(就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援)のリーフレットを窓口を設置し、窓口に来庁された相談者へ配布しました。 ・外国人向けに、公益財団法人三重国際交流財団(MIEF)発行の「みえ外国人相談サポートセンター(MieCo)」のリーフレットを窓口を設置しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションなどと連携のもと就労情報の提供や相談活動を実施します。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、リーフレット等を窓口を設置し、来庁された相談者へ配布します。 			

③	働きやすい環境づくりの促進	所管課	産業建設課、子育て健康課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方が町民と企業に浸透するように朝明商工会等の関係機関と連携してパンフレットを窓口等に設置しました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載及び、子育て健康課及び朝日町保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。 			
■令和6年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町ホームページ等を活用し、働きやすい環境づくり促進に向けたPRや情報提供に努めます。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載及び、子育て健康課及び朝日町保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
北勢地域若者サポートステーションへの就労相談を通じた進路決定者数	1件	目標値	→				年1件以上
		実績値	0件	1件	3件		

基本目標2 活力ある働きやすいまちづくり

(2) 商工業の振興

1) 施策の方向

地域の企業の発展と成長を促し、地域経済の活性化を図るためには、新たな販路拡大の支援、経営安定化の支援、時代に即した商工業の育成や起業支援に取り組む必要があります。

朝明商工会と連携して時代の変化に即した活力ある商工業の振興や、特産品の創出などによる個性的で活力ある地場産業の振興を図ります。



令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	時代変化に即した活力ある商工業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金（15件、379千円）を実施しました。 ・創業支援等事業計画に基づき、朝明商工会と連携して「あさけ女性創業塾」を実施しました。 ・空家等を活用するため、ビジネスや場づくりに関心のある方などを対象に「空き家で創業セミナー」を開催しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金等を実施します。 ・創業支援等事業計画に基づいた創業支援を実施します。 ・空家等をビジネスや場づくりに活用するためのセミナーを実施します。 			

②	地場産業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品の募集について町広報紙に掲載したほか、朝明商工会と連携し、商工会会員に対して既存の特産品を活かした新たな特産品開発の募集を行いました。応募はありませんでした。 ・ASAHI WAKUWAKU オータムフェス！において特産品事業者が出店し、特産品のPR、販路拡大に貢献しました。 ・ふるさと納税制度では、ふるさと納税の推進とともに販路拡大支援として、新たに返礼品を4品追加しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き朝明商工会等と連携により新たな特産品の創出を目指します。 ・ASAHI WAKUWAKU オータムフェス！やふるさと納税制度において、特産品のPRを行い、販路拡大を支援します。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特産品の新規認定件数	1件	目標値					年1件以上
		実績値	1件	0件	0件		
朝明商工会等の支援を受けた創業者数	1件	目標値					年1件以上
		実績値	0件	0件	3件		

基本目標2 活力ある働きやすいまちづくり

(3) 農業の振興

1) 施策の方向

本町の農業は、高齢化や担い手不足により従事者が減少傾向にあり、次世代への継承が課題となっています。また、圃場整備を行ってからの期間が経過しており、農業施設の老朽化が進み、修繕等の対応が必要となっています。

担い手の確保による農業経営体制の強化や農産物の高品質化・ブランド化、生産性の向上、地産地消等を推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	農業生産基盤の維持向上	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支援事業において、活動組織が行う老朽化した農業施設の長寿命化に対する支援を行い、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進するため、2団体に補助金を交付しました。 ※【実施計画】多面的機能支援事業			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の持つ多面的な機能の保全・活用や農業の生産基盤を整備するため、地域ぐるみの共同活動や農業施設の修繕を支援する補助金等で、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進します。 ※【実施計画】多面的機能支援事業			

②	農業の担い手の育成・確保	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約化を推進し、農地区画拡大の補助金交付により担い手の経営拡大・効率化の支援を行い、農地利用集積率は67.0%となりました。 ※【実施計画】担い手対策事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営を支援するため、三重県と連携して先進地域の視察研修を行いました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を活用した農地利用の集積・集約化や農地の区画拡大を促進する補助金等で、担い手の経営拡大・効率化を支援します。 ※【実施計画】担い手対策事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営や農業の担い手を育成するため、必要な支援等を行います。 			

③	農業生産等の振興	所管課	産業建設課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品農産物である「あさひのお米」などを町広報紙等においてP R活動を行い、販路拡大を支援しました。 ・「あさひのお米」については学校給食での米飯食材として、また、「原木しいたけ」「たけのこ」については、季節限定食材として地産地消を推進しました。 			
■令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品農産物を町広報紙等でのP R活動を行い農産物の販路拡大を支援します。 ・特産品農産物を関係機関等と連携し、学校給食等での活用促進により地産地消推進に努めます。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
農地利用 集積率	62.4%	目標値	63.9%	66.0%	67.0%	68.5%	70.0%
		実績値	65.6%	65.4%	67.0%		
集落営農の 法人化	0法人	目標値	1法人	—	—	—	1法人
		実績値	1法人	—	—		

基本目標3 人が集う魅力あるまちづくり

(1) 適切な土地利用と良好な景観形成の推進

1) 施策の方向

本町は、広域交通の条件が優れていることを背景に、良好な環境の住宅地をはじめ、国道1号沿いの商業地など、調和のとれた土地利用の誘導を図ってきました。また、朝日まちなみプランに基づき、自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、朝日町らしい景観の形成を図っています。

引き続き、「持続可能な発展」を基本にし、豊かな自然環境、優良農地の保全・活用と市街地形成のための開発とバランスが取れた計画的な土地利用を推進するとともに、自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、東海道まちなみ整備の推進による朝日町らしい景観形成を促進します。

また、本町の豊かな自然と快適な暮らしを持続させ次世代へ引き継いでいくため、多様な世代が快適な暮らしを送ることができる住環境の整備を図ります。さらに、空家の増加は防災、景観及び生活環境の保全上多くの問題が生じる要因となることから、朝日町空家等対策計画に基づく対策を推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	適正な土地利用の推進	所管課	企画情報課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・次年度実施する必要がある都市計画基礎調査に向けた情報収集を行いました。			
■ 令和6年度の取り組み方向			
・都市計画法に基づき、人口・土地利用等の現状や動向を把握するため、都市計画基礎調査を実施します。 ※【実施計画】朝日町都市計画基礎調査業務委託事業			

②	良好な景観形成の推進	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しの演出に取り組みました。			
・資料館での竹あかりの展示に合わせ、資料館ナイトミュージアム（夜間開館）を実施し、260人が来場しました。また、町民が作製した竹あかりの展示も行いました。			
・町民有志の団体による竹林整備が始まり、町で購入した樹木粉碎機の貸出（2団体、14回貸出）や補助制度（2団体、588千円）により活動を支援しました。			
・町民有志の団体による竹林整備が行われた竹林で、タケノコ掘り体験の開催を支援しました。			
※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			
■ 令和6年度の取り組み方向			
・朝日まちなみプランに基づく、東海道沿いの景観向上への取り組みをあさひ竹プロジェクト等と連携して、町民とともに推進します。			
・町民有志の団体による竹林整備並びにタケノコ掘り体験の開催を支援します。			
・町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めるため、教育文化施設内調整池兼親水公園のビオトープ整備を行います。			
※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）、教育文化施設ビオトープ改修事業			

③	良好な住宅環境の推進	所管課	企画情報課、産業建設課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、4件の申請を受け付け、適正な指導を実施しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の安全性向上に取り組むため、住宅の耐震診断や除去などへ誘導するため広報等を実施しました。その結果、耐震診断10件、除去6件を支援しました。また、診断を受けた方へ個別相談会の案内を送付しました。 <p>※【実施計画】木造住宅耐震補強事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町空家等対策計画に基づき、空家個別相談会を実施し、9件の相談がありました。 ・空家バンク登録への働きかけや空家の適切な管理を促すため、広報等を実施しました。 ・空家等を活用するため、ビジネスや場づくりに関心のある方などを対象に「空き家で創業セミナー」を開催しました。 			
■令和6年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、引き続き、適正な指導を実施します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の安全性向上のために、耐震化の必要性などについて啓発するとともに、耐震診断及び除去等について支援します。 <p>※【実施計画】木造住宅耐震補強事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな空家の発生抑制のため、適切な管理や除却を促進し、空家バンク登録への働きかけや利活用への相談体制強化等を実施します。また、空家等をビジネスや場づくりに活用するためのセミナーを実施します。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町民と連携し竹等を活用した景観向上等のイベント開催	—	目標値	→				毎年1回以上
		実績値	2回	2回	2回		

基本目標3 人が集う魅力あるまちづくり

(2) 観光交流資源の創出と情報発信

1) 施策の方向

観光マップの「あさひタウンガイド」等の作成・配布による観光情報を発信してきましたが、観光資源に特化したコンテンツなどが不足しており、新たな観光・交流資源の創出を進める必要があります。さらに、新たな高速交通網の整備等により本町を取り巻く環境が変化することも視野に入れ、近隣市町との広域連携による観光情報の発信、東海道を活用した広域観光ルートづくりの検討が必要です。

このため、朝日まちなみプランに基づく東海道の整備により、交流人口・関係人口が増加し賑わいのある町の促進に努めます。また、東海道まちなみプランに基づく東海道の整備に伴い撮影した施設等の映像及び広域連携による観光・交流資源の積極的なPR活動を展開し、本町の認知度、ブランド力及び町の魅力の向上を図ります。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	観光・交流資源の発掘・活用	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しの演出に取り組みました。 ・資料館での竹あかりの展示に合わせ、資料館ナイトミュージアム（夜間開館）を実施し、260人が来場しました。また、町民が作製した竹あかりの展示も行いました。 ※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・竹あかり展示イベント等を、朝日まちなみプランにより整備された施設等にて開催を検討します。 ※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）			

②	広域連携による観光振興	所管課	産業建設課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・北伊勢10市町との広域連携および朝明商工会との連携により、金山駅（愛知県）にて開催された物販イベントにおいて朝日町特産品等の販売、パンフレット配布を行いました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町との広域連携による観光情報の発信や、各市町のイベント実施などにより広域的な観光振興を図ります。 			

③	観光・交流資源の情報発信	所管課	産業建設課
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・観光・交流資源のPRを推進するため、三重テレビ放送「Mieライブ」番組内の朝日町東海道紹介企画への取材などに協力しました。</p> <p>・朝日まちなみプラン進捗状況紹介動画をCCNet放映、町ホームページにて発信しました。</p> <p>・近鉄主催で開催されたウォーキングに合わせて、朝日まちなみ検討会が参加者へのまち歩き絵図の配布、メンバーによるガイド、資料館に竹の花挿しを展示し、来館者に対して朝日まちなみプランの取り組みの紹介を行いました。</p> <p>・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」に1コース追加しました。</p> <p>※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・報道機関との連携や町広報紙等、「まち歩きナビ」の活用により、観光・交流資源のPRを推進します。</p> <p>・鉄道事業者に対して地域資源などについてPRし、東海道ウォーキングの際に積極的な活用を図ります。</p> <p>※【実施計画】朝日まちなみプラン推進事業</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日まちなみプランに関する町広報紙年間掲載件数	6件	目標値	→				現状維持以上
		実績値	8件	8件	8件		

基本目標3 人が集う魅力あるまちづくり

(3) 歴史・文化の継承と活用

1) 施策の方向

本町には、国指定重要文化財である舍利容器を出土した縄生廃寺（県指定史跡）をはじめ、古萬古・有節萬古の窯跡などの埋蔵文化財、国学者の橋守部、日本画家の栗田真秀・水谷立仙に関する歴史資料など多くの歴史・文化に関連する文化財が収蔵、展示、保護されています。今後も引き続き、文化財の調査、研究、保存を行うとともに、地域の活性化に資する交流資源として活用することが必要です。

このため、貴重な歴史的・文化的資源を大切に保全し、この資源の活用による町民の歴史・文化意識の高揚と地域活性化を推進します。また、文化財の展示や歴史・文化にかかわる学習を行うとともに、芸能・芸術活動も推進し、文化の香り高いまちづくりを推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	文化財の保護と活用	所管課	文化課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書学習会（全7回）と文化教養講座（全3回）を企画し、参加者数は古文書学習会がのべ136人（6回分、空調設備の不具合により1回中止）、文化教養講座はのべ110人（3回分）になりました。 ・文化財保護法第93条及び三重県文化財保護条例第48条第1項により、埋蔵文化財包蔵地の工事立会を4件実施しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文書学習会（全7回）及び文化教養講座（全3回）を実施します。 ・今後も朝日町の歴史・文化を発信できるテーマなどで事業内容を検討します。 			

②	町史の編さん	所管課	広報・町史編さん課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・橋守部編では執筆者会議（2回）を行い、掲載内容の調整を行いました。併せて校正作業をすすめ、令和6年3月末に資料編3橋守部を刊行しました。また、掲載資料確認のため、群馬県立文書館において資料調査を実施しました。 ・通史編・別編では執筆者会議（5回）を行い、進捗状況の確認や掲載内容の調整を行い、執筆・編集・校正作業をすすめました。また、執筆者においては動植物の生態調査や古文書などの資料調査も行いました。 ・町史編さん事業の周知のため、7月30日に小学生を対象とした自然観察会（児童10名、保護者10名）と9月16日に大人を対象とした講演会（演題「文政六年三方領知替えと桑名町の動向」、参加者18名）を開催しました。 			
※【実施計画】町史編さん事業			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<庶務・町史編さん課（広報・町史編さん課）>			
<ul style="list-style-type: none"> ・通史編・別編の編集作業を進め、町制70周年を迎える令和6年10月刊行にむけて取り組みます。また、別編については、町制70周年の記念事業として、全戸配付していきます。 ・町史の成果を周知するため講演会を開催します。 			
※【実施計画】町史編さん事業			

③	文化・芸術活動の推進と継承	所管課	生涯学習課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・公民館活動は、15教室の活動ができました。そのうち新規教室を4教室開催することができました。しかし、参加者の固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。</p> <p>・11月5日開催の朝日町文化祭については、ASAHI WAKUWAKU オータムフェス！と同日開催であったため、例年よりも多い、約2,000人の方が来場されました。ただ、年々出展者が減っていることから、募集の方法などを検討していく必要があります。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・公民館活動については、講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時間を検討していきます。</p> <p>・朝日町文化祭については年々出展者が減っていることから、募集の方法や開催方法などを検討していきます。</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
博物館年間 来館者数	4,431人	目標値	1,150人	1,300人	2,000人	4,000人	5,500人
		実績値	1,078人	1,822人	3,560人		
団体の発表 会・展示会等 の開催回数	3回	目標値	1回	2回	2回	2回	4回
		実績値	1回	2回	2回		

基本目標4 安心してずっと暮らせるまちづくり

(1) 誰もがいきいきと暮らせる環境づくり

1) 施策の方向

全ての町民が人間としての尊厳と権利が守られ、生涯にわたって健康に恵まれ、生き生きと生活できるよう、保健・医療・福祉サービスの充実と地域の支え合いにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが求められています。これらのニーズに的確に対応するため、地域福祉人材の育成、福祉サービスの充実、高齢者の生きがいづくり・高齢者を支える地域づくりなどを推進します。

また、町民一人一人が健康寿命を延ばし、生涯にわたって生き生きと過ごせるよう疾病予防や重症化対策の推進、さらに地域ぐるみの健康づくりに取り組みます。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	地域福祉の人材育成	所管課	保険福祉課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関する意識啓発の場である「朝日町福祉感謝祭」は、飲食物の販売を除いて、コロナ禍以降初めて平成30年度以前と同規模の内容にて、朝日町社会福祉協議会が主催で実施しました。 ・民生児童委員に対して、月1回の民生児童委員協議会及び隔月で開催する勉強会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、委員の福祉に対する知識向上に協力しました。 ・認知症サポーター養成講座を1月に開催し、23名の方に参加いただきました。地域で認知症の方を支えるために認知症について理解を深めました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町社会福祉協議会主催による「朝日町福祉感謝祭」の開催を通じ、地域福祉に関する意識啓発を引き続き行います。 ・引き続き、民生児童委員に対して、月1回の民生児童委員協議会を通じて、朝日町社会福祉協議会の協力のもと町から福祉制度の周知を行い、委員の福祉に対する知識向上に努めます。 ・認知症について理解を深めるために、引き続き、認知症サポーター養成講座を開催していきます。 			

②	地域福祉の体制づくり	所管課	保険福祉課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員に対して、月1回の民生児童委員協議会を通じ、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、円滑な民生児童委員活動への支援が出来ました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、民生児童委員に対して、月1回の民生児童委員協議会を通じ、朝日町社会福祉協議会の協力のもと町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、円滑な民生児童委員活動への支援を実施していきます。 			

③	高齢者の生きがいがつくり・高齢者を支える地域づくりの推進	所管課	保険福祉課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・通いの場としてのサロン事業を計81回実施しました。</p> <p>・福祉人材センターのボランティア募集は、朝日町社会福祉協議会ホームページにおける周知のほか、桑名ハローワーク管内における同様の情報を集めたチラシに掲載していただき、ハローワークを訪れた高齢者にチラシにて周知していただきました。また、既存の登録者に引き続き活動してもらうため、登録者に対し継続登録の呼びかけを行いました。</p> <p>・独り暮らしの高齢者等に対し、「配食ボランティア」及び「給食ボランティア」による月2回の配食サービスを実施し、計23回1,023食を提供しました。</p> <p>・地域包括ケアシステムについては、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めており、特に薬剤師会と協働し、在宅医療・介護連携の推進について重点的に進めました。</p>			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p>・高齢者の生きがいがつくり、高齢者を支える地域づくりのための推進のため、通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等を引き続き行います。</p> <p>・「配食ボランティア」及び「給食ボランティア」による月2回の配食サービスを継続実施します。</p> <p>・地域包括ケアシステムについては、昨年度に引き続き三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して進めていきますが、特に薬剤師会と協働し、在宅医療・介護連携の推進について重点的に進めていきます。</p>			

④	疾病予防や重症化対策の推進	所管課	子育て健康課、保険福祉課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <p>・疾病予防や生活習慣病重症化予防のため、各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨しました。</p> <p>・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発しました。また、11月に乳がん子宮がんの検診未受診者に受診勧奨を行いました。</p> <p>・がん検診受診者数（受診率）は、胃がん検診352人（5.8%）、大腸がん検診580人（9.5%）、肺がん検診497人（8.1%）、乳がん検診562人（15.1%）、子宮がん検診516人（12.3%）、前立腺がん検診238人（8.0%）でした。</p> <p><保険福祉課></p> <p>・四日市医師会及び管内市町と協力し、国保特定健康診査・後期高齢者健康診査を実施しました。国保特定健康診査は受診者向上にむけて通知勧奨及び訪問勧奨を実施し、令和4年度に比べ国保特定健康診査（406人、受診率50.7%）の受診率は向上しましたが、後期高齢者健康診査（549人、受診率45.3%）・後期高齢者歯科健康診査（46人、受診率16.9%）、国保特定保健指導（12人、利用率33.3%）は受診率・利用率が低下しており、事業勧奨を強化していく必要があります。</p>			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <p>・各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨していきます。</p> <p>・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発していきます。</p> <p><保険福祉課></p> <p>・国保特定健康診査の受診率は向上しましたが、国の目標とする60%には至っていません。その他の健診事業等についても国及び三重県後期高齢者医療広域連合の目標値には到達していないため、令和6年度も受診率・利用率の向上に向けて工夫しながら事業勧奨を行っていきます。</p>			

⑤	地域や関係機関と協働した健康づくりの推進	所管課	子育て健康課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、あさひ健康マイレージ事業の啓発を実施しました。具体的には周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布しました。また、各種がん検診や国保特定健康診査のご案内時にチラシを同封し、啓発を行いました。さらには朝日町特産品（あさひのお米）をインセンティブとし、参加者の増加を図ると共に、特産品の啓発も行いました。しかし、参加者が13名と少なく、さらなる啓発が必要です。</p> <p>・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び朝日町保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置しました。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・「あさひ健康マイレージ事業」を活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布するなど、引き続き啓発を行います。</p> <p>・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、引き続き「健康経営」についてホームページに掲載するとともに、子育て健康課及び朝日町保健福祉センター窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉人材センター登録者数	17人	目標値	20人	20人	20人	26人	33人
		実績値	17名	18人	20人		
徘徊高齢者SOSメール登録者数	216人	目標値	230人	380人	380人	400人	420人
		実績値	359人	360人	387人		
見守りに関する協定数	1協定	目標値	2協定	3協定	5協定	5協定	5協定
		実績値	2協定	4協定	4協定		
後期高齢者健診受診率	47.6%	目標値	46.0%	47.0%	48.0%	42.0%	42.0%
		実績値	48.0%	46.0%	45.3%		

基本目標4 安心してずっと暮らせるまちづくり

(2) 協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成

1) 施策の方向

生活様式や価値観の多様化などに伴い、自治活動への参加意識が低くなり、地域コミュニティの弱体化が生じています。また、多様化する町民ニーズ、行政だけでは解決できないような地域課題、厳しさを増す行財政運営などを背景として、町民の行政への参加による協働のまちづくりがこれまで以上に求められています。

このため、町民と行政が情報の共有、相互補完、参画・協働、連携体制の強化などを通じて、地域課題の解決や魅力ある地域づくり、次代の担い手の育成、時代に合わせたコミュニティ活動の活発化や自治機能の向上を推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	町民参画と開かれた町政の推進	所管課	企画情報課、総務課、各種計画策定所管課、広報・町史編さん課
■ 令和5年度の進捗度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の令和4年度事業評価を町ホームページにて公表しました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新庁舎建設基本計画」について、策定委員会委員の一般公募を実施しました（応募人数0人）。 ・「朝日町財政改革推進プラン」の策定において、計画案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数23件）。 ・タウンミーティングを5地区（白梅西、朝日ヶ丘、柿、縄生、埋縄）で開催しました。参加人数は5地区93名で各自治区からの提案されたテーマに基づく事業説明、要望に対する回答を行う中で住民と双方のコミュニケーションを図りました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からの計画となる「朝日町障害者計画（第5期）障害福祉計画（第7期）障害児福祉計画（第3期）」「第10次朝日町高齢者保健福祉計画・第9期朝日町介護保険事業計画」の策定においては、いずれも1ヶ月間計画素案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数いずれも0件）。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝日町健康増進計画・朝日町自殺予防対策行動計画」の策定において、計画案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数0件）。 <p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和5年度意見数6件）。 ・町広報紙である「広報あさひ」をスーパーや病院など町内各所に配置しました。また、新たな施設（1ヶ所）へ配置を拡充し、広報機会の充実に努めました。さらに、折込チラシについて、チラシの枚数が多いとの意見を踏まえて発行回数を減らすことや回覧対応により大幅に削減しました。 ・SNS等の活用について、他市町での活用状況の情報収集を行いました。 ・あさひPRパンフレットを全世帯へ配付しました。また、様々な機会に配付を行い、情報発信に努めました。 ・広報紙を記事ごとにデータ化し、インターネットで無料配信するサービス「マイ広報紙」に登録し、広報機会の充実に努めました。 ・令和6年10月発行に向け「朝日町暮らしの便利帳」の作成を進めました。 			

■令和6年度の取り組み方向

<企画情報課>

- ・引き続き、町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和5年度事業評価が完了後、速やかに町ホームページにて公表します。
- ・まちづくりを進めていくための計画である「第6次朝日町総合計画後期基本計画」策定のため、まちづくりに関するアンケート調査を実施します。

※【実施計画】第6次総合計画後期基本計画・総合戦略策定事業

<総務課>

- ・「朝日町財政改革推進プラン」の取組実績について町ホームページにて公表します。
- ・タウンミーティングについて、区長会での意向を確認のうえ実施します。

<各種計画策定所管課>

- ・各種計画策定にあたり、町民の意見を反映させるためにパブリックコメントを実施します。

<広報・町民課（広報・町史編さん課）>

- ・引き続き、広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。さらに、町民が要望・提案等ができる機会を拡充するため、公共施設等への意見箱を設置します。
- ・町広報紙である「広報あさひ」を引き続きスーパーや病院など町内各所に配置し、新たな施設への配置など拡充を図ります。
- ・広報手段の充実のため、SNS等の活用について検討します。
- ・令和6年10月に「朝日町暮らしの便利帳」を発行する予定です。

②	地域の多様なコミュニティ活動の支援	所管課	企画情報課、総務課、生涯学習課、保険福祉課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,784千円交付決定を行い、実績額は4,691千円、活用率は78.2%であり、コロナ禍で制限されていた各自治区の活動がさらに回復傾向となりました。また、今年度から補助金制度の理解促進を図るため補助金に関するQ&Aを各自治区に送付するとともに、これまで同様に交付申請時の相談には随時対応して補助金が有効に活用されるように努めました。さらには、2月に開催された自治区長会にて、各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。 ※【実施計画】地域づくり支援事業 町主催秋のイベント開催に向けて、町民の皆さんからイベント名の公募を行い、応募総数103通から「ASAHI WAKUWAKU オータムフェス！」に決定しました。各種関係機関と調整を図り、11月5日に開催して入場者数約2,000人と多くの町民の方に来場いただきました。また、次年度の開催に向けて、庁内にプロジェクトチームを立ち上げました。 小向自治区が申請した「令和5年度一般コミュニティ助成事業」の円滑な実施に向けて支援を行い、一般財団法人自治総合センターへの実績報告が完了しました。また、自治区等のコミュニティ団体の活動支援のため、「令和6年度一般コミュニティ助成事業の募集について」の案内をホームページにて周知を行いましたが、応募はありませんでした。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> 町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金（年総額2,889千円）、自治区用人費補助金（年総額2,194千円）及び自治区振興補助金（年総額2,500千円）を人口、世帯数を勘案し補助を行いました。 自治区長会（6回開催）を通じて自治区と行政の情報共有を図りました。また、各自治区要望（69件）に対する対応状況の報告を行いました。 自治区の加入率低下や自治区活動の担い手不足等により自治区組織の体制維持が困難になってきていることが課題として挙げられるため自治区加入促進のため各自治区の取り組みを町ホームページで紹介しました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 本部子ども会への支援として、朝日町子ども会育成者連絡協議会へ307千円補助金を交付するとともに運営支援を行いました。地区子ども会へは前述の補助金から各地区へ補助金を交付し、活動で必要な保険や、子ども会の運営に関する支援を行いました。 地区公民館への支援として朝日ヶ丘分館の建替工事と縄生分館の修繕工事について朝日町財政健全化措置要綱により補助金を交付しました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブに対し、補助金を交付し、老人クラブの活動を支援しました。なお、60歳以降も就労される方が多くなった高齢者の生活実態により、老人クラブへの加入は減少傾向となっています。 			

■令和6年度の取り組み方向

<企画情報課>

・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるようQ&Aの送付、自治区長会で情報提供を行うとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。

※【実施計画】地域づくり推進事業

・ASAHI WAKUWAKU オータムフェス！につきましては、11月3日朝日町文化祭と同日開催予定のため、庁内プロジェクトチームで円滑に実施できるよう調整を図ります。

※【実施計画】イベント開催事業

・自治区等のコミュニティ団体の活動支援として、引き続き一般財団法人自治総合センターの補助メニューの周知に努めます。

<総務課>

・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金、自治区用人費補助金及び自治区振興補助金を人口、世帯数等を勘案し各地区へ補助を行う予定です（令和6年8月頃）。

・自治区長会を開催するとともに町ホームページでの自治区の紹介を行います。

<生涯学習課>

・引き続き本部子ども会への補助金を交付するとともに運営支援、地区子ども会へは各地区へ補助金を交付し、活動に必要な保険や子ども会の運営に関する支援を行います。

・公民館分館の建替や修繕について、円滑に事業が実施されるよう補助金を交付します。

<保険福祉課>

・引き続き、老人クラブの活動を支援しますが、補助金については朝日町財政改革推進プランに基づき見直します。

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
町ホームページアクセス数	335件/日	目標値	350件/日	580件/日	450件/日	450件/日	450件/日	
		実績値	573件/日	444件/日	400件/日			
地域づくり推進事業補助金活用率	83.8%	目標値	→					現状維持以上
		実績値	65.0%	76.1%	78.2%			

基本目標4 安心してずっと暮らせるまちづくり

(3) 安全・安心な地域づくり

1) 施策の方向

南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々な態様の風水害などから町民の生命と財産及び生活を守るために、平常時における準備や、災害発生時に迅速な対応ができる基盤と仕組みの整備に加え、自助・共助・公助による町全体の防災力の強化に努め、災害に強いまちづくりを推進します。

また、誰もが安全で安心して暮らせるよう、町民一人一人が防犯や交通安全等に関心を持つとともに、防犯設備や交通安全設備の整備及び維持管理を適正に行い、犯罪や交通事故が発生しにくいまちづくりを推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	災害に強いまちづくりの推進	所管課	防災保全課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報発令等の発表時、迅速に対応できるよう災害時職員初動マニュアルに基づき朝日町災害対策本部を1回設置しました。 ・災害備蓄品の計画的な更新や充実、防災関連機器の適切な維持管理などは予定どおりに取り組みました。 ※【実施計画】防災情報設備維持管理事業 ・防災講演会については「地域で救う災害時要支援者」と題して鍵屋一氏を講師に招いて4年ぶりに開催し、地域住民・自主防災隊等、約130名の方の参加があり、町民への防災啓発を実施しました。 ・地域防災計画の修正に関しては、機構改革による災害対応業務分担など所管課が変更となることから、事業完了を令和6年度に繰越しました。 ※【実施計画】地域防災計画修正事業 ・避難行動要支援者関連事業においては、柿自治区において、制度や個別避難計画の作成における支援の必要性や支援者の発掘（登録）について自治区協力の必要性などの説明を実施しました。 ・大規模風水害（高潮）の発生、または恐れのある際に広域避難が必要となる事態を考え、「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」並びに「三泗地区1市3町の広域避難に関するワークショップ」に参加し、避難実施要領の作成・タイムラインの設定などを行いました。 ・朝日小学校体育館が避難所となった場合の避難者の生活向上のため非常用発電機を設置しました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><防災環境課（防災保全課）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害備蓄品の更新や充実などは、引き続き計画的に実施します。また、能登半島地震発生によって、さらに注視された高齢者等の災害関連死に関する事項など、「防災・減災」は日々変化するため、タイミングを見計らい迅速な対応を目指します。 ・避難行動要支援者関連事業においては、支援者の発掘（登録）、個別避難計画の作成を推進します。 ・広域避難が必要となる事態に備えて、引き続き「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」等に参加します。 ・令和5年度から事業繰越した地域防災計画修正事業を完成させます。 ※【令和5年度実施計画】地域防災計画修正事業 			

②	防犯意識の高揚と防犯活動の充実	所管課	総務課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・警察、防犯協会等の関係機関と連携し、広報活動等を通じて啓発を行いました。 ・事件情報等について、警察等の関係機関と情報共有及び連携を行うとともに、特に近年多発する特殊詐欺等の被害防止に向けてホームページ、掲示板等での情報発信を行いました。 ・防犯に関する情報発信を町ホームページ・町広報紙への記事掲載、回覧等を行いました。 ・防犯灯について、要望等に基づき新設、改良及び修繕工事を計8箇所行いました。 ・防犯カメラについて既設3基の運用に加え、新設3基を1月より運用開始しました。 ※【実施計画】防犯カメラ設置事業			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<庶務・町史編さん課（総務課）> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、防犯協会等の関係機関と連携し、情報共有及び広報活動等の連携強化に努めます。 ・事件情報及び防犯情報等の情報発信を各種媒体で行います。 ・防犯灯などの防犯施設の設置及び維持・修繕について、各地区と協議のうえ実施します。 ・令和6年度設置予定の防犯カメラ（4基）の整備を進めます。 ※【実施計画】防犯カメラ設置事業			

③	交通安全対策の推進	所管課	総務課、教育課、産業建設課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<総務課> <ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。 ・県内の交通死亡事故が多発していることに鑑み、緊急対策として8月に県警察と連携し広報活動等を行いました。 ・カーブミラーなどの交通安全施設について、要望等に基づき新設、更新及び修繕工事を計19箇所行いました。 <教育課、総務課、産業建設課> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各施設管理者と危険個所の確認及び対策方法の検討を行いました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<庶務・町史編さん課（総務課）> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等を含め連携強化に努めます。 ・カーブミラーなどの交通安全施設の設置及び維持・修繕について、各地区と協議のうえ実施します。 <教育課、庶務・町史編さん課（総務課）、産業建設課> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者と危険個所の確認及び必要な対策を講じます。 			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日Sアラート登録者数	1,082人	目標値	1,200人	1,500人	2,700人	2,900人	3,000人
		実績値	2,222人	2,717人	2,880人		
避難行動要支援者避難援助プラン（個別計画）の策定	準備中	目標値	事業継続	事業継続	事業継続	事業継続	随時更新
		実績値	事業継続	事業継続	事業継続		
刑法犯認知件数	80件	目標値	76件	71件	70件	70件	60件
		実績値	65件	77件	86件		
交通事故発生件数（人身事故）	31件	目標値	29件	27件	26件	23件	23件
		実績値	13件	15件	13件		

基本目標4 安心してずっと暮らせるまちづくり

(4) 持続可能な行財政運営

1) 施策の方向

町民ニーズの多様化への対応、社会保障費の増大、公共施設の老朽化問題など、様々な行政課題にあたり、財源の安定的な確保とともに効果的かつ効率的な行財政運営が求められています。

このため、限られた資源（人員・財源等）を有効に活用し、事業の選択と集中により効果的かつ効率的な行政運営に努めるとともに、オンライン化等による行政サービスの向上やスマート自治体への転換を推進します。

また、安定的な財源の確保と行財政運営経費の見直しを行い、中長期的な財政計画に基づき、自主財源の安定確保と財源の有効活用に努め、健全で持続可能な財政運営を推進します。

さらに、公共施設等の老朽化や維持管理にかかる費用の平準化等の公共施設マネジメントを図り、計画的な維持管理の実施と長寿命化を図り、安定的な財政運営を推進します。

一方で、町民の生活や活動範囲が拡大する中、広域的な行政課題等に対して近隣市町との共同事業として取り組みます。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	効率的な行政運営と行政の情報化への対応	所管課	企画情報課、総務課、町民環境課、生涯学習課、税務課
■ 令和5年度の進捗度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> 三重県市町DX推進協議会に計3回参加し、Logoチャット上でも積極的な情報収集を図りました。 庁内の電子自治体委員会を計3回開催し、基幹系システムの標準化対応等に関する全庁的な情報共有を図りました。 生成AIやAI議事録システムについて試験導入し、作業時間の削減等の事務負担軽減が効果としてありました。 災害時にICTを利用した業務が継続できるとともに、早期に復旧させることを目的に「ICT業務継続計画」を策定しました。 標準準拠システムへの移行に向けて、システムベンダーとそれぞれの業務所管課で現行システムとのギャップを詳細に分析する作業を実施しました。また、引き続き、県・県内市町・システムベンダーとも情報共有を図りました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> マイナポイント事業（第2弾）の啓発記事を広報あさひに掲載したほか、マイナポイントの手続き支援をオークワでも実施し、676件となりました。 証明書コンビニ交付サービスの啓発記事を広報あさひに掲載しました。証明書コンビニ交付サービスの発行実績は1,704通の発行実績があり、利用率は約23.4%でした。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）について、町広報紙及び町ホームページで周知を行いました。 マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）を開設し、平日夜間は19日間のべ108枚、休日は11日間のべ122枚のマイナンバーカードの交付を行いました。 令和6年3月末現在マイナンバーカード総交付数は9,091枚、交付率は81.85%でした。 スマートフォンとマイナンバーカードを利用したスマート申請の実績として、転出入は67件、戸籍証明は26件ありました。また、マイナポータルを通じた転出転入ワンストップの利用は67件の実績がありました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン教室について、デジタル活用推進事業に採択された実施団体と民間事業者の2事業者を活用し、計29回開催、116人が参加しました。 			

■令和6年度の取り組み方向

<企画情報課>

- ・引き続き、三重県市町DX推進協議会への参加や庁内電子自治体推進委員会を開催します。
- ・生成AIやAI議事録システム等を導入し業務の効率化を図るとともに、汎用電子申請システムの導入により住民サービス利便性の向上を図ります。

※【実施計画】ICT導入によるスマート自治体構築事業

- ・標準準拠システムへの移行に向けて、引き続き、県・県内市町・システムベンダーとも情報共有を図っていきます。

<広報・町民課（総務課）（町民環境課）>

- ・証明書のコンビニ交付サービスの利用向上に向けた周知を行います。
- ・電子申請が可能な申請書の種類や申請方法について、町広報紙やホームページ等を利用し町民へ周知を行います。また、引き続き臨時窓口の開設を行うことで、マイナンバーカード交付申請等に対応します。

<生涯学習課>

- ・令和6年度も総務省のデジタル活用推進事業補助金採択を受けた実施団体等を活用し、スマートフォン教室の開催を検討します。

<税務課>

- ・土地家屋登記情報連携システムを導入し、作業時間削減等の事務負担軽減を図ります。

※【実施計画】土地家屋登記情報連携システム導入事業

②	健全な財政運営の推進と自主財源の確保	所管課	総務課、町税及び使用料・手数料に関する徴収所管課、防災保全課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常経費である公債費や人件費の増額などにより、財政調整基金の令和5年度末残高は前年度と比較し約2千万円の減となりました。今後、早期に収支改善が図れるよう歳入歳出の両面から見直しを行う必要があります。 ・将来にわたって十分な行政サービスを提供し持続的に発展していくため、効率的かつ安定的な財政構造への転換を目指すべく「朝日町財政改革推進プラン」を策定しました。 <p><町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対して、督促、催告、滞納処分及び回収機構への移管等により滞納整理を進めました。 ・新たな収納サービスとして、QRコードを利用した納付の方法をHPに掲載するなど電子納付の周知を進めました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税は、寄附受入額が過去最高額（635件、10,169千円）となりました。 ・ふるさと納税推進のため、令和5年度に新規参入いただいた事業者1社を含め、返礼品を計4品を追加しました。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共用地の未利用地において処分はありませんでした。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝日町財政改革推進プラン」に位置づけた収支改善の取り組みを着実に実施します。 <p><町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理プロジェクトにより、各所管課で情報共有を図って、滞納者に対して督促、催告、滞納処分等を実施します。 ・保育料の見直しについては、朝日町財政改革推進プランに基づき、現状の受益者負担の分析を行い、負担の公平性を確保していくため令和7年度に見直しできるよう検討を進めます。 ・上水道事業の経営安定化のため、水道料金の見直しを検討します。 <p><産業建設課（総務課）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税事業推進のため引き続き事業者と連携し、魅力ある返礼品開発を行います。また、企業版ふるさと納税の推進のため、企業訪問を実施します。 <p><総務課（防災保全課）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の処分について引き続き検討します。 			

③	公共施設等の適切な維持管理	所管課	総務課・各公共施設管理所管課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課・各公共施設管理所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町有施設の老朽化等による漏水や設備の故障等に迅速な修繕を実施し、適切な維持管理に努めました。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎設備の故障等に迅速な修繕を行いました。 			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p><総務課・各公共施設管理所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設個別施設計画」に基づく長寿命化改修事業等を「朝日町財政改革推進プラン」により先送りとしたが、老朽化等による修繕が必要となった場合には迅速に対応し、適切な維持管理に努めます。 <p><庶務・町史編さん課（防災保全課）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、老朽化等による漏水や設備の故障等に迅速な修繕を実施し、適切な維持管理に努めます。 			

④	広域連携（県や近隣市町）による行政の推進	所管課	企画情報課、防災保全課、税務課、保険福祉課、上下水道課、町民環境課
■令和5年度の進展度		B	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・現状の広域連携である「常設消防委託事業」「三重地方税管理回収機構」「三重県後期高齢者医療広域連合」「三重県三重郡老人福祉施設組合」「北勢沿岸流域下水道」「川越排水機場維持管理」「朝日町広域衛生組合」「朝日町、川越町組合立環境グリーンセンター」を維持し、共同事業として取り組み、効率的な行政運営を推進しました。</p> <p>・「知事との円卓対話」を8月に開催して、「新庁舎建設に向けた支援について」「幼児教育・保育の費用負担の増大に対する見直し、改善について」「教育支援体制の強化について」の3項目を知事と町長が朝日町保健福祉センターにて公開して意見交換を行いました。</p> <p>・「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」をもとに共通の課題に関して解決に向けて検討会議（「人口が減っても住み続けられる地域コミュニティのしくみ検討会議」）を設置したことから会議に出席して、県内市町の状況について情報収集を行いました。</p> <p>・三泗地区1市3町にて構成される「四日市広域市町村圏協議会」では、協議会（総会）1回、事務局会議1回を開催し、広域的な課題について情報共有及び意見交換を行いました。また、働き方改革及びDXの観点から「ChatGPT」を研究テーマとして、全国で初めて全庁的に導入した横須賀市へ10月26日に先進地視察を行いました。</p> <p>・北勢地区5市5町にて構成される「FUTURE21北勢」では、昨年度に引き続き各種テーマ（若者の定住促進、行政のDX化等）について「自治体運営に関するアンケート」が行われ、各市町の取組について情報共有を図りました。</p> <p>・大規模風水害（高潮）の発生、または恐れのある際に広域避難が必要となる事態を考え、「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」並びに「三泗地区1市3町の広域避難に関するワークショップ」に参加し、避難実施要領の作成・タイムラインの設定などを行いました。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・引き続き、現状の広域連携を維持するとともに、新たに広域的な対応を必要とする行政課題に対しては、共同事業として取り組むことを検討します。</p> <p>・引き続き、「知事との円卓対話」の開催に向けて、県と調整を行います。</p> <p>・全県的な課題について対応するため組織される「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の枠組み（検討会議等）を活用して、各種の課題解決が図れるよう取り組みます。</p> <p>・広域的な行政課題等に対応するため、三泗地区1市3町にて構成される「四日市広域市町村圏協議会」、北勢地区5市5町にて構成される「FUTURE21北勢」の枠組みを引き続き維持します。</p> <p>・広域避難が必要となる事態に備えて、引き続き「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」等に参加します。</p>			

3) 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
実質公債費比率	6.8%	目標値	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.0%
		実績値	7.4%	7.6%	7.4%	/	/
経常収支比率（臨時財政対策債等含む）	92.1%	目標値	85.0%	85.0%	83.0%	83.0%	80.0%
		実績値	82.5%	84.2%	87.8%	/	/

横断的な目標

(1) 多様な人材の活躍を推進する

1) 施策の方向

地方創生の取り組みは、これを担う人材の活躍によって実現が可能となります。このため、複雑・多様化する地域課題の解決に向けて、地方公共団体だけでなく、企業、NPO、町民など、地域にかかわる一人一人が地域の担い手として自ら積極的に参画できるよう、多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めます。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	多様な主体（行政・町民・まちづくりにかわりがある全ての主体）によるまちづくりの推進	所管課	企画情報課、総務課、各種計画策定所管課、広報・町史編さん課、保険福祉課、生涯学習課
■ 令和5年度の進展度		B	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の令和4年度事業評価を町ホームページにて公表しました。（再掲） <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新庁舎建設基本計画」について、策定委員会委員の一般公募を実施しました（応募人数0人）。（再掲） ・「朝日町財政改革推進プラン」の策定において、計画案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数23件）。（再掲） ・タウンミーティングを5地区（白梅西、朝日ヶ丘、柿、縄生、埋縄）で開催しました。参加人数は5地区93名で各自治区からの提案されたテーマに基づく事業説明、要望に対する回答を行う中で住民と双方のコミュニケーションを図りました。（再掲） <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からの計画となる「朝日町障害者計画（第5期）障害福祉計画（第7期）障害児福祉計画（第3期）」「第10次朝日町高齢者保健福祉計画・第9期朝日町介護保険事業計画」の策定においては、いずれも1ヶ月間計画素案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数いずれも0件）。（再掲） <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝日町健康増進計画・朝日町自殺予防対策行動計画」の策定において、計画案をホームページで公開するとともに、町内各施設に設置することにより、パブリックコメントを実施しました（意見数0件）。（再掲） <p><広報・町史編さん課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和5年度意見数6件）。（再掲） <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,784千円交付決定を行い、実績額は4,691千円、活用率は78.2%であり、コロナ禍で制限されていた各自治区の活動がさらに回復傾向となりました。また、今年度から補助金制度の理解促進を図るため補助金に関するQ&Aを各自治区に送付するとともに、これまで同様に交付申請時の相談には随時対応して補助金が有効に活用されるように努めました。さらには、2月に開催された自治区長会にて、各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。 <p>※【実施計画】地域づくり支援事業（再掲）</p> <p><広報・町史編さん課、保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県が導入しているパートナーシップ制度において、引き続き関係各課と連携し、パートナーシップ制度や性の多様性に関するパンフレットを窓口に配置するなど啓発事業や情報提供に取り組みました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関しては、7月に北勢地域における日本語学習支援体制づくり連絡会議が開催され、意見交換が行われました。また、四日市市で開催された外国人雇用企業向け講演会への後援を行いました。 			

■ 令和6年度の取り組み方向

＜企画情報課＞

- ・引き続き、町民の参画意識高揚のため、「第6次朝日町総合計画前期基本計画」「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和5年度事業評価が完了後、速やかに町ホームページにて公表します。（再掲）
- ・まちづくりを進めていくための計画である「第6次朝日町総合計画後期基本計画策定」のため、まちづくりに関するアンケート調査を実施します。（再掲）

※【実施計画】第6次総合計画後期基本計画・総合戦略策定事業

＜総務課＞

- ・「朝日町財政改革推進プラン」の取組実績について町ホームページにて公表します。（再掲）
- ・タウンミーティングについて、区長会での意向を確認のうえ実施します。（再掲）

＜各種計画策定所管課＞

- ・各種計画策定にあたり、町民の意見を反映させるためにパブリックコメントを実施します。（再掲）

＜広報・町民課（広報・町史編さん課）＞

- ・引き続き、広く町民の意見を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。さらに、町民が要望・提案等ができる機会を拡充するため、公共施設等への意見箱を設置します。（再掲）

＜企画情報課＞

- ・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるようQ&Aの送付、自治区長会で情報提供を行うとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。

※【実施計画】地域づくり推進事業（再掲）

＜広報・町民課（広報・町史編さん課）（保険福祉課）＞

- ・引き続き、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」を推進し、三重県や関係機関と情報交換を行うなどダイバーシティ社会に向けた機運の醸成を図ります。
- ・パートナーシップ制度については、三重県が導入しているパートナーシップ制度において、引き続き町民に対する情報提供を行います。また、当該事業の登録者が利用できるサービスは他市町で利用できるものについては対応できていますが、新たに利用できそうなサービスが出た場合に、関係課と協力してサービスの拡充に努めます。

＜生涯学習課＞

- ・多文化共生に関する情報交換を他市町と行うとともに、引き続き四日市市で開催される外国人雇用企業向け講演会への後援を行います。

②	官学連携の推進	所管課	企画情報課
■ 令和5年度の進展度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・「四日市大学と朝日町との包括連携に関する協定書」に基づき、外部委員として「朝日町地方創生推進会議」「新庁舎建設基本計画策定委員会」に参画をいただき、連携を図りました。</p>			
■ 令和6年度の取り組み方向			
<p>・四日市大学や三重大学など高等教育研究機関とは、協定に基づき各種審議会及び委員会にて外部委員として参画いただくなど引き続き連携を図ります。</p>			

横断的な目標

(2) 新しい時代の流れを力にする

1) 施策の方向

本町の地域特性を踏まえた、モノやサービスの生産性・利便性を高め、産業や生活等の質を変化させ、町の魅力を向上させるためには、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れた新たな未来社会とされるSociety5.0の実現を通じて、様々な社会的課題の解決、地域経済の発展、快適な暮らしの実現などの地方創生を推進します。

また、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取り組みを推進するに当たって、SDGsの理念に沿って進めることにより、施策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取り組みの一層の充実・深化につなげることができることから、SDGsを原動力とした地方創生を推進します。

令和5年度 効果検証シート

2) 主な取り組み

①	未来技術（AIやRPA等のICT）を活用したまちづくりの推進	所管課	企画情報課、総務課、町民環境課、生涯学習課、教育課、税務課
■ 令和5年度の進捗度		A	
■ 令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県市町DX推進協議会に計3回参加し、Logoチャット上でも積極的な情報収集を図りました。（再掲） ・庁内の電子自治体委員会を計3回開催し、基幹系システムの標準化対応等に関する全庁的な情報共有を図りました。（再掲） ・生成AIやAI議事録システムについて試験導入し、作業時間の削減等の事務負担軽減が効果としてありました。（再掲） ・災害時にICTを利用した業務が継続できるとともに、早期に復旧させることを目的に「ICT業務継続計画」を策定しました。（再掲） <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業（第2弾）の啓発記事を広報あさひに掲載したほか、マイナポイントの手続き支援をオークワでも実施し、676件となりました。（再掲） ・証明書コンビニ交付サービスの啓発記事を広報あさひに掲載しました。証明書コンビニ交付サービスの発行実績は1,704通の発行実績があり、利用率は約23.4%でした。（再掲） <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）について、町広報紙及び町ホームページで周知を行いました。（再掲） ・マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間・休日）を開設し、平日夜間は19日間のべ108枚、休日は11日間のべ122枚のマイナンバーカードの交付を行いました。（再掲） ・令和6年3月末現在マイナンバーカード総交付数は9,091枚、交付率は81.85%でした。（再掲） ・スマートフォンとマイナンバーカードを利用したスマート申請の実績として、転出入は67件、戸籍証明は26件ありました。また、マイナポータルを通じた転出転入ワンストップの利用は67件の実績がありました。（再掲） <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン教室について、デジタル活用推進事業に採択された実施団体と民間事業者の2事業者を活用し、計29回開催し、116人が参加しました。（再掲） <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政保有情報のオープンデータ化について、町ホームページの公開内容を7種類（「公共施設一覧」「子育て施設一覧」「地域・年齢別人口一覧」「文化財一覧」「こどものお出かけ先一覧」「指定緊急避難場所一覧」「指定避難所一覧」）に拡充しました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が授業力の向上をめざし、年1回以上、指導主事を招聘した研究授業を実施し、指導力の向上・授業改善を図りました。加えて、1人1台端末や電子黒板の学習における効果的な活用について、昨年度に引き続き研修を進めました。（再掲） ・「1人1台端末」の持ち帰りを、おおむね1週間に1回程度実施しました。そのことにより、音読（英語のリーディング）や楽器の演奏を録音して提出するなど、課題の幅が広がりました。また、自主学習にも活用し、授業の復習やテスト勉強に役立てる児童生徒も増えました。（再掲） 			

<p>■令和6年度の取り組み方向</p> <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、三重県市町DX推進協議会への参加や庁内電子自治体推進委員会を開催します。(再掲) ・生成AIやAI議事録システム等を導入し業務の効率化を図るとともに、汎用電子申請システムの導入により住民サービス利便性の向上を図ります。(再掲) <p>※【実施計画】ICT導入によるスマート自治体構築事業</p> <p><広報・町民課(総務課)(町民環境課)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・証明書のコンビニ交付サービスの利用向上に向けた周知を行います。(再掲) ・電子申請が可能な申請書の種類や申請方法について、町広報紙やホームページ等を利用し町民へ周知を行います。また、引き続き臨時窓口の開設を行うことで、マイナンバーカード交付申請等に対応します。(再掲) <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も総務省のデジタル活用推進事業補助金採択を受けた実施団体等を活用し、スマートフォン教室の開催を検討します。(再掲) <p><税務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地家屋登記情報連携システムを導入し、作業時間削減等の事務負担軽減を図ります。 <p>※【実施計画】土地家屋登記情報連携システム導入事業(再掲)</p> <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政保有情報のオープンデータ化について、町ホームページの公開内容を拡充します。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上をめざし、年1回以上、指導主事を招聘した研究授業を実施するとともに、1人1台端末や電子黒板の学習における効果的な活用について研修を行います。 ・家庭での学習習慣を定着させるとともに、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の効果的な活用を推進します。(再掲) 	
---	--

②	地方創生SDG s の考え方を反映させた 施策による持続可能なまちづくりの推進	所管課	企画情報課
■令和5年度の進展度		A	
■令和5年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・本総合戦略の4つの基本目標に対する13の施策はSDG s の考え方が概ね反映されています。その施策に紐付けられた44の主な取り組みに対する「令和5年度の進展度」は、A(十分進んだ)が17、B(ある程度進んだ)が27、C(あまり進まなかった)が0、D(進まなかった)が0でした。主な取り組みがA又はBと評価されたことから、着実に取り組みが推進されました。</p>			
■令和6年度の取り組み方向			
<p>・引き続き4つの基本目標に対する13の施策を着実に推進し、SDG s の理念に沿って持続可能なまちづくりを目指します。</p>			